



平成30年8月20日

報道関係者各位

国立大学法人帯広畜産大学

牛の削蹄競技全道大会の開催について

牛の削蹄(さくてい)は蹄(ひづめ)の健康を維持し、生産性を向上させるために欠くことのできない飼養技術の一つです。その削蹄技術を競い合う大会を、9月3日(月)、4日(火)に本学畜産フィールド科学センターを会場に開催いたします。

乳牛や肉牛の体重は雌で600kg、雄では1,000kgにも達し、これを4本の脚で支えています。その重量は最終的にすべて脚の先端の蹄にかかっています。蹄は牛の体格に比べて非常に小さいため、蹄が伸び過ぎるとバランスが悪くなり体調を崩し、乳量や肉質が落ちる原因になります。また、蹄が病気になるとその痛みはヒトの虫歯の痛さに匹敵するともいわれています。伸びた蹄を定期的に削り、形を整える仕事のプロが牛削蹄師で、(公社)日本装削蹄協会の認定削蹄師が技を競うのがこの大会です。

北海道の削蹄技術レベルは極めて高く、ここ10年の全国大会で3度の優勝実績があります。削蹄の業界は開業が主体で、とかく競合し閉鎖的になりがちですが、26年前に北海道牛削蹄師会を設立し、積極的に技術交流し、技能を切磋琢磨しています。裏方として畜産を支える牛削蹄師グループの、日頃の研鑽を広くご紹介いただきたく、取材方どうぞよろしくお願ひいたします。

なお当日は学生対象に削蹄の学習プログラムも企画しております。

1. 名称: 第25回北海道ブロック牛削蹄競技大会(第60回全国大会予選)

2. 主催: 北海道牛削蹄師会(会長 阿部 優、会員数 170名)

共催: (公社)日本装削蹄協会、国立大学法人帯広畜産大学

3. 日程等:

平成30年9月3日(月) 15:20~16:00 削蹄判断競技・学生向削蹄判断コンテスト

(牛の歩様や蹄を見て、蹄の問題や矯正すべきところを見つけます)

平成30年9月4日(火) 8:30~ 開会式

9:00~10:00 削蹄実技競技(牛の蹄を実際に削ります)

11:30~12:00 指導級削蹄師による削蹄デモ(学生対象)

14:30~ 表彰式・閉会式(講義棟大講義室)

4. 場所: 帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター(帯広市稲田町西2線11)

5. 参集者: 全道の牛削蹄師 約100名、内選手30名

6. その他: 変則ながら来賓のご挨拶とご紹介は、表彰式・閉会式の折に実施いたします。

【お問い合わせ・取材申込】

○北海道牛削蹄師会事務局長 江口文朗

TEL: 011-642-4990 FAX: 011-642-3243

E-mail: do-eishikyo@bz04.plala.or.jp

○帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター

TEL: 0155-49-5657 FAX: 0155-49-5654

E-mail: field@obihiro.ac.jp